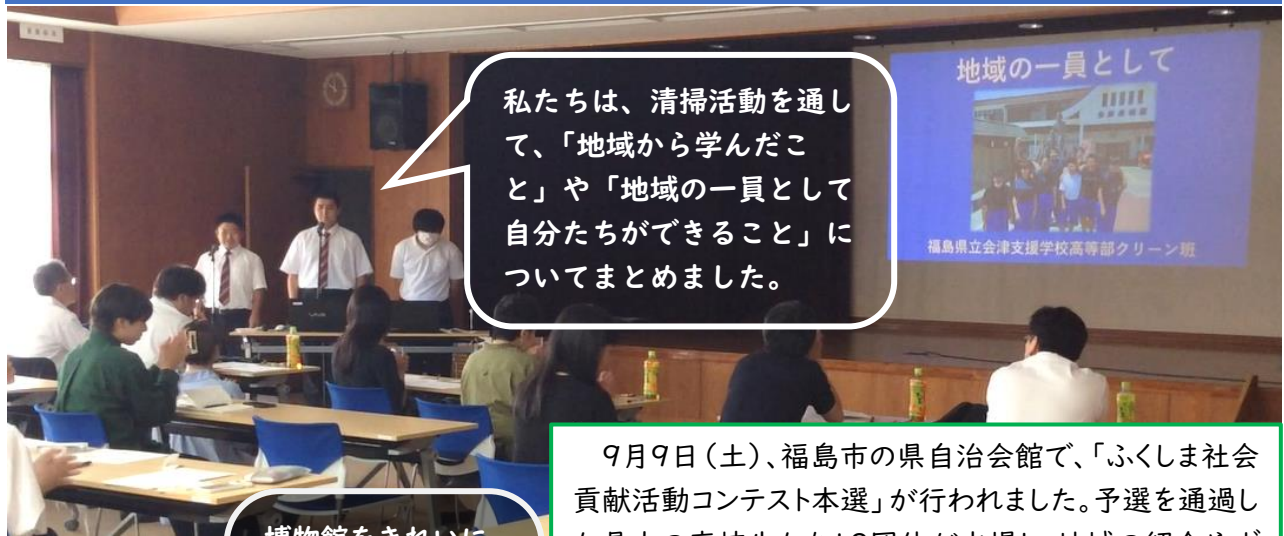
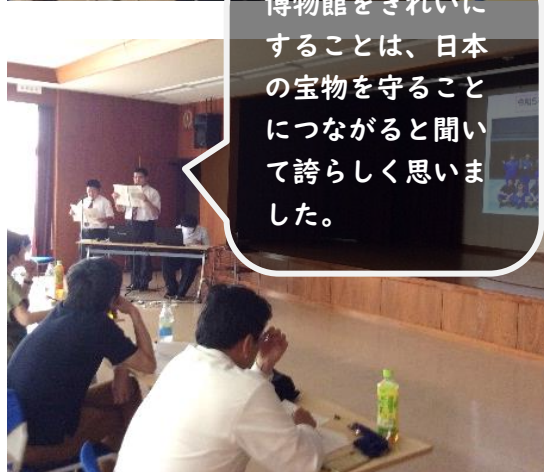


令和5年度ふくしま社会貢献活動コンテスト ～本選出場～



私たちは、清掃活動を通して、「地域から学んだこと」や「地域の一員として自分たちができること」についてまとめました。



博物館をきれいにすることは、日本の宝物を守ることにつながると聞いて誇らしく思いました。

9月9日(土)、福島市の県自治会館で、「ふくしま社会貢献活動コンテスト本選」が行われました。予選を通過した県内の高校生たち12団体が出場し、地域の紹介やボランティア活動などについて発表しました。

本校高等部「クリーン班」は、これまで取り組んできた清掃活動の5つの事例を紹介し、地域とのつながりについて発表しました。

地域の清掃会社である『(株)サンライズ』の方から受けた講習及び『会津若松駅』、『会津若松市障がい者支援センターカムカム』、『福島県会津自然の家』、『福島県立博物館』での校外清掃を通して、学んだことをまとめ、自分たちが地域の中でできることを発信する機会となりました。

「クリーン班」を代表して、佐々木 光輝(3年)、東条 陽介(3年)、板橋 幸利(1年)の3名の生徒が参加してきました。3名とも初めて経験する大きな活躍の場に、非常に緊張していた様子でしたが、堂々とプレゼンテーションし、自分たちの取り組みをアピールすることができました。審査員の方から、「一番わかりやすいプレゼンテーションであった。」、「これからは、清掃してくれる人の思いを組んで、トイレをきれいに使うようにしたいと感じた。」とのお褒めの言葉をいただきました。

- ◎入賞
- ◎社会貢献賞



これからも地域の一員として地域で学び地域の人たちとともに生きていきたいと思えます。

高校生同士での交流も深めました！



10月4日(水) 20:54~20:58のFTVキビタンGOにて放映予定ですので、そちらも是非ご覧ください